



81<sup>th</sup>

中間報告書

2011.4.1 - 2011.9.30

〔特集〕

2011-2015 中期経営計画  
“Motion-V”

新しい時代にふさわしい、クラスの枠を超えた  
NEW インプレッサ誕生

株主のみなさまには平素よりご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、ここに第81期(2011年度)の中間報告書をお届けするにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

2011年度上期は3月に発生した東日本大震災の影響を受け大幅に生産台数が減少したことや、為替の円高の影響もあり、残念ながら前年同四半期に対して減収減益となりました。

また通期につきましては、為替の円高傾向は続くものと予想されますが、上期の台数減少を挽回すべく下期に過去最高となる台数の生産・販売を成し遂げ、しっかりと収益を確保して参りたいと考えております。

このような状況の中、中間配当につきましては業績、経営環境等を勘案し4円50銭とさせていただくことといたしました。

当社は本年7月、コア事業である自動車部門の"スバル"が、今後10年以内に年間100万台を越える販売を達成するという成長目標を掲げ、その基盤固めとなる2011年度から2015年度までの5年間を対象とした中期経営計画"Motion-V(モーションファイブ)"を策定しました。具体的には、ブランド戦略として、スバルがお客様に提供する価値を「安心と愉しさ」と定義し、その価値を高め、ファン層の拡大を目指すものです。

商品面につきましてはスバルの強みである安全性能や走行性能、社会のニーズが高い環境性能の向上を図り、新型車3車種やハイブリッド車を含め毎年新商品を投入して、商品ラインナップを拡充します。販売面では米国と中国を重点市場と定め、5年間で約40%の台数増に挑戦し、生産面では販売台数に見合った、為替対応力を高める生産体制を構築します。こうした活動で事業の規模を拡大し、さらに



代表取締役会長

森 郁夫



代表取締役社長

吉永泰之

原価低減活動やアライアンス効果を組み合わせ、環境技術の開発投資、原材料高騰、為替変動などのさまざまなリスクや環境変化を克服し、成長を目指す計画です。

本中期経営計画では、これまで通り「お客様第一」を基軸におき、Confidence in Motion ～信頼と革新～を行動指針として、諸課題の解決に取り組み、最終年度である2015年度には販売台数90万台、営業利益1200億円、営業利益率6%レベルを目指します。詳細につきましては特集ページに記載しておりますのでご覧下さい。

本年12月に開催されます東京モーターショーでは新型インプレッサやトヨタ自動車株式会社との共同開発を進めているFRスポーツカー「BRZ(ビィ アール ゼット)」を発表いたします。この新型インプレッサは中期経営計画"Motion-V"のテーマのひとつである「新たなスバルらしさの追求」を実現する商品の第1弾となるものです。

まずは中期経営計画の初年度となる2011年度を確実に仕上げるべく、グループ社員一丸となって取り組んでまいり所存です。株主のみなさまにおかれましては、今後とも引き続きご支援ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

平成23年12月

## ≫ 営業の概況および業績の推移

### ● 営業の概況（連結）

当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、東日本大震災の影響に加え、円高による為替レート差の影響を受けたことなどにより、6,550億円と前年同期比1,490億円（18.5%）の減収となりました。

利益面につきましては、売上高の減少に伴い、営業利益が188億円と前年同期比386億円（67.3%）の減益となり、経常利益につきましても、216億円と前年同期比373億円（63.3%）の減益となりました。また、四半期純利益につきましても、本年4月に新宿スバルビルを売却

したことに伴う特別利益261億円を計上しましたが、328億円と前年同期比118億円（26.5%）の減益となりました。

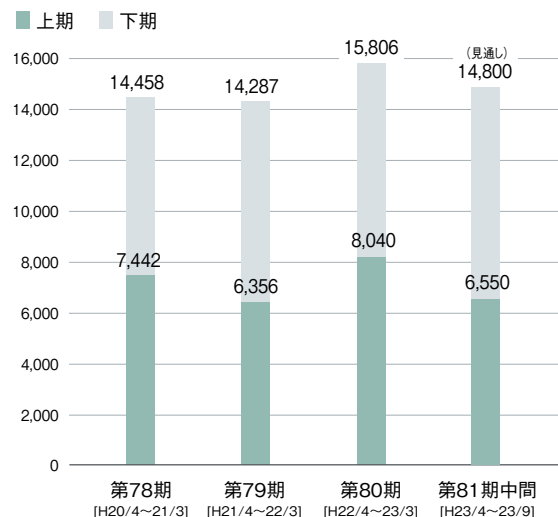
### ● 通期見通し

通期の連結業績につきましては、売上高1兆4800億円、営業利益300億円、経常利益290億円、当期純利益360億円を予想しております。

### ● 連結の業績および推移

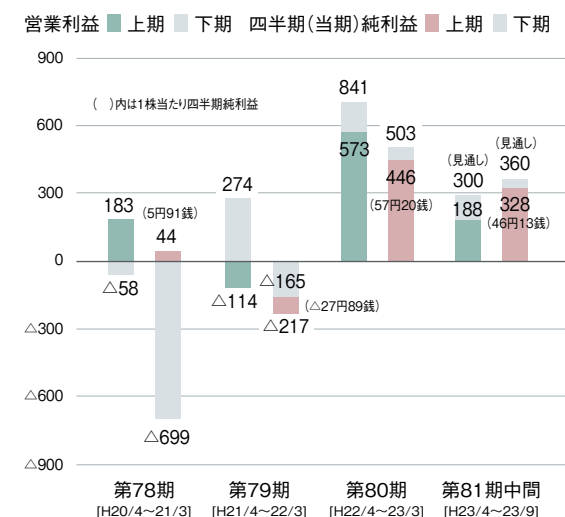
#### ≫ 売上高の推移

（単位：億円）



#### ≫ 利益の推移

（単位：億円）



## 自動車事業部門

東日本大震災や円高の影響などにより減収減益

東日本大震災の影響により大幅に生産台数が減少したことなどにより、スバルの販売状況等は、以下の通りとなりました。

国内におけるスバルの登録車販売は、新エンジンを搭載した「フォレスター」が前年同期を上回る好調な推移となり、昨年11月に発売した「トレジア」も台数の上積みへ寄与したことから全体需要を上回る販売実績となりましたが、売上台数は36千台と前年同期比2千台(4.9%)の減少となりました。また、軽自動車につきましても、5月に「ステラ」のフルモデルチェンジを行いました。その他車種による落ち込みをカバー出来ず、売上台数は37千台と前年同期比14千台(27.7%)の減少となりました。

これらの結果、国内における売上台数の合計は73千台と前年同期比16千台(18.0%)の減少となりました。

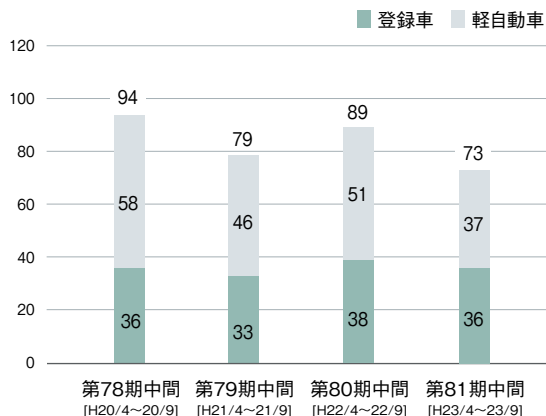
海外につきましては、地域別の売上台数が、北米で128千台と前年同期比16千台(11.0%)の減少、ロシアを含む欧州で20千台と前年同期比9千台(31.3%)の減少、豪州で16千台と前年同期比5千台(23.7%)の減少、中国で19千台と前年同期比13千台(40.9%)の減少、その他地域で10千台と前年同期比6千台(38.4%)の減少となりました。

これらの結果、海外における売上台数の合計は193千台と前年同期比49千台(20.3%)の減少となりました。

以上の結果、国内と海外の売上台数の合計は266千台と前年同期比65千台(19.7%)の減少となり、全体の売上高は、為替の円高による影響もあり、5,943億円と前年同期比1,477億円(19.9%)の減収となりました。また、セグメント利益につきましても、171億円と前年同期比384億円(69.3%)の減益となりました。

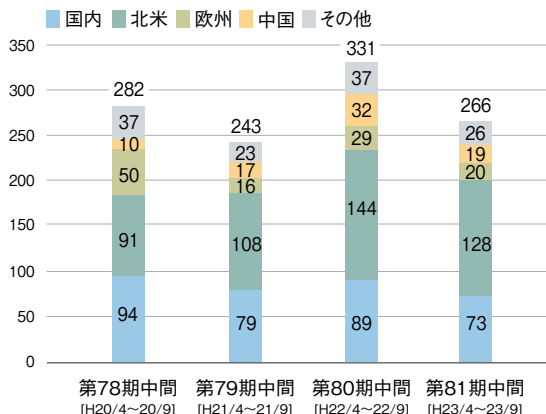
### ≫ 売上台数の推移(国内)

(単位:千台)



### ≫ 売上台数の推移(世界)

(単位:千台)



## 航空宇宙事業部門

## 売上構成の改善により増益

防衛省向け製品では固定翼哨戒機「P-1」や部品等の売上が増加したものの、「F-2」戦闘機の契約終了による売上の減少等により、売上高は前年同期並みとなりました。

また、民間向け製品では「ボーイング777」の売上は増加したものの、円高による為替レート差の影響などにより、売上高

は前年同期並みとなりました。

以上の結果、全体の売上高は374億円と前年同期並みとなりましたが、セグメント利益につきましては、売上構成が改善したことにより、10億円と前年同期比5億円(92.0%)の増益となりました。

## 産業機器事業部門

## 国内販売が伸長し増収増益

国内につきましては、東日本大震災の復興向け発電機を中心として販売台数が伸長し、売上高は前年同期を上回りました。

一方、海外につきましては、ロシア、中東、東南アジア向けなどにおいてエンジン販売が堅調に推移したものの、北米向けのエンジン販売が大きく低迷したことに加え、為替の円高の影

響もあり、売上高は前年同期を下回りました。

以上の結果、全体の売上高は173億円と前年同期比9億円(5.5%)の増収となりました。セグメント利益につきましても、3億円と前年同期比2億円(171.7%)の増益となりました。

## その他事業部門

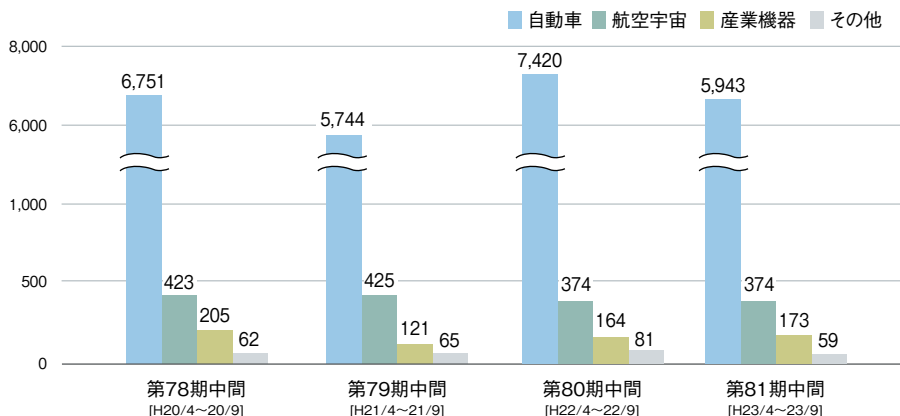
## 風力発電システムの売上減などにより減収減益

風力発電システム関連の売上が減少したことなどにより、売上高は59億円と前年同期比21億円(26.6%)の減収となり

ました。セグメント利益につきましても、4億円と前年同期比9億円(70.2%)の減益となりました。

## &gt;&gt; 部門別売上高の推移

(単位:億円)



## 連結貸借対照表

単位：百万円

| 科目                | 当第2四半期末<br>平成23年9月30日現在 | 前期末<br>平成23年3月31日現在 | 科目                   | 当第2四半期末<br>平成23年9月30日現在 | 前期末<br>平成23年3月31日現在 |
|-------------------|-------------------------|---------------------|----------------------|-------------------------|---------------------|
| <b>資産の部</b>       |                         |                     | <b>負債の部</b>          |                         |                     |
| <b>流動資産</b>       |                         |                     | <b>流動負債</b>          |                         |                     |
| 現金及び預金            | 164,167                 | 211,700             | 支払手形及び買掛金            | 184,334                 | 176,895             |
| 受取手形及び売掛金         | 100,514                 | 76,810              | 短期借入金                | 104,146                 | 99,072              |
| リース投資資産           | 21,925                  | 23,050              | 一年内返済予定の長期借入金        | 20,786                  | 20,902              |
| 有価証券              | 113,835                 | 21,063              | 一年内償還予定の社債           | 20,010                  | 20,010              |
| 商品及び製品            | 85,006                  | 72,871              | 未払法人税等               | 5,392                   | 2,089               |
| 仕掛品               | 57,966                  | 56,567              | 未払費用                 | 51,901                  | 60,876              |
| 原材料及び貯蔵品          | 37,466                  | 36,974              | 賞与引当金                | 16,269                  | 16,322              |
| 繰延税金資産            | 13,794                  | 13,754              | 製品保証引当金              | 26,661                  | 27,172              |
| 短期貸付金             | 71,776                  | 59,986              | 工事損失引当金              | 5,083                   | 4,681               |
| その他               | 43,735                  | 39,396              | その他                  | 57,432                  | 52,684              |
| 貸倒引当金             | △ 1,935                 | △ 1,851             | <b>流動負債合計</b>        | <b>492,014</b>          | <b>480,703</b>      |
| <b>流動資産合計</b>     | <b>708,249</b>          | <b>610,320</b>      | <b>固定負債</b>          |                         |                     |
| <b>固定資産</b>       |                         |                     | 社債                   | 4,075                   | 24,080              |
| <b>有形固定資産</b>     |                         |                     | 長期借入金                | 237,591                 | 166,562             |
| 建物及び構築物（純額）       | 114,225                 | 118,267             | 繰延税金負債               | 13,604                  | 14,002              |
| 機械装置及び運搬具（純額）     | 91,032                  | 81,261              | 退職給付引当金              | 33,674                  | 33,707              |
| 土地                | 171,224                 | 177,697             | 役員退職慰労引当金            | 419                     | 561                 |
| 賃貸用車両及び器具（純額）     | 7,539                   | 11,751              | その他                  | 51,199                  | 54,746              |
| 建設仮勘定             | 15,395                  | 21,391              | <b>固定負債合計</b>        | <b>340,562</b>          | <b>293,658</b>      |
| その他（純額）           | 18,842                  | 20,475              | <b>負債合計</b>          | <b>832,576</b>          | <b>774,361</b>      |
| <b>有形固定資産合計</b>   | <b>418,257</b>          | <b>430,842</b>      | <b>純資産の部</b>         |                         |                     |
| <b>無形固定資産</b>     |                         |                     | <b>株主資本</b>          |                         |                     |
| その他               | 11,346                  | 12,040              | 資本金                  | 153,795                 | 153,795             |
| <b>無形固定資産合計</b>   | <b>11,346</b>           | <b>12,040</b>       | 資本剰余金                | 160,071                 | 160,071             |
| <b>投資その他の資産</b>   |                         |                     | 利益剰余金                | 186,225                 | 156,948             |
| 投資有価証券            | 65,379                  | 68,052              | 自己株式                 | △ 1,259                 | △ 1,381             |
| 繰延税金資産            | 2,125                   | 1,812               | <b>株主資本合計</b>        | <b>498,832</b>          | <b>469,433</b>      |
| その他               | 65,523                  | 69,269              | <b>その他の包括利益累計額</b>   |                         |                     |
| 貸倒引当金             | △ 3,969                 | △ 4,011             | その他有価証券評価差額金         | 10,653                  | 11,567              |
| <b>投資その他の資産合計</b> | <b>129,058</b>          | <b>135,122</b>      | 為替換算調整勘定             | △ 76,490                | △ 68,339            |
| <b>固定資産合計</b>     | <b>558,661</b>          | <b>578,004</b>      | <b>その他の包括利益累計額合計</b> | <b>△ 65,837</b>         | <b>△ 56,772</b>     |
| <b>① 資産合計</b>     | <b>1,266,910</b>        | <b>1,188,324</b>    | 少数株主持分               | 1,339                   | 1,302               |
|                   |                         |                     | <b>③ 純資産合計</b>       | <b>434,334</b>          | <b>413,963</b>      |
|                   |                         |                     | <b>負債純資産合計</b>       | <b>1,266,910</b>        | <b>1,188,324</b>    |

[注]百万円未満四捨五入

## 連結損益計算書

単位:百万円

| 科目              | 当第2四半期累計<br>自 平成23年4月 1日<br>至 平成23年9月30日 | 前第2四半期累計<br>自 平成22年4月 1日<br>至 平成22年9月30日 |
|-----------------|------------------------------------------|------------------------------------------|
| 売上高             | 655,023                                  | 803,994                                  |
| 売上原価            | 523,544                                  | 620,231                                  |
| 売上総利益           | 131,479                                  | 183,763                                  |
| 販売費及び一般管理費      | 112,719                                  | 126,414                                  |
| 営業利益            | 18,760                                   | 57,349                                   |
| 営業外収益           | 8,551                                    | 7,862                                    |
| 営業外費用           | 5,748                                    | 6,386                                    |
| 経常利益            | 21,563                                   | 58,825                                   |
| 4 特別利益          | 27,095                                   | 995                                      |
| 5 特別損失          | 8,471                                    | 4,121                                    |
| 税金等調整前四半期純利益    | 40,187                                   | 55,699                                   |
| 法人税等            | 7,394                                    | 11,035                                   |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 32,793                                   | 44,664                                   |
| 少数株主利益          | 40                                       | 98                                       |
| 四半期純利益          | 32,753                                   | 44,566                                   |

[注]百万円未満四捨五入

### Point ▶ ① 資産

資産は銀行借入による運用資金の増加に伴い、有価証券が928億円増加したことなどにより786億円の増加となりました。

### Point ▶ ② 負債

負債は社債を200億円償還しましたが、銀行借入により長期借入金が709億円増加したことなどにより582億円の増加となりました。

### Point ▶ ③ 純資産

純資産は円高による為替換算調整勘定(連結決算において海外子会社の財務諸表を円換算する時に調整する勘定)が82億円減少したものの、利益剰余金が293億円増加したことなどにより204億円の増加となりました。

### Point ▶ ④ 特別利益

新宿スバルビル売却に伴う固定資産売却益261億円などです。

### Point ▶ ⑤ 特別損失

東日本大震災による災害損失(操業等低下分の固定費用など)73億円などです。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

| 科目                 | 当第2四半期累計<br>自 平成23年4月 1日<br>至 平成23年9月30日 | 前第2四半期累計<br>自 平成22年4月 1日<br>至 平成22年9月30日 |
|--------------------|------------------------------------------|------------------------------------------|
| 6 営業活動によるキャッシュ・フロー | △ 9,242                                  | 90,484                                   |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー   | 13,952                                   | △ 26,524                                 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー   | 52,159                                   | △ 29,182                                 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額   | △ 5,302                                  | △ 12,083                                 |
| 現金及び現金同等物の増減額      | 51,567                                   | 22,695                                   |
| 現金及び現金同等物の期首残高     | 227,704                                  | 191,466                                  |
| 連結範囲の変更に伴う増減額      | 32                                       | —                                        |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高   | 279,303                                  | 214,161                                  |

[注]百万円未満四捨五入

### Point ▶ ⑥

#### 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益の計上402億円がありましたが、売上債権の増加237億円、たな卸資産の増加189億円などにより、資金は92億円減少しました。

#### 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の売却による収入(取得による支出との純額)135億円などにより、資金は140億円増加しました。

#### 財務活動によるキャッシュ・フロー

社債の償還による支出200億円がありましたが、長期借入による収入(返済による支出との純額)709億円などにより資金は522億円増加しました。



当社では、お客様第一を基軸に「存在感と魅力ある企業」を目指すことを経営ビジョンとしております。本年7月、コア事業である自動車部門「スバル」が、今後10年以内に年間100万台を超える販売を達成するという成長目標を掲げ、その地盤固めとなる2011年度から2015年度までの5年間を対象とした中期経営計画“Motion-V”（モーション ファイブ）を策定しました。

Motion-Vは、中期経営計画の行動指針である「Confidence in Motion」の“Motion”と、5年間・5つの取り組みに、Vision、Value、Victoryなどの頭文字Vをかけた、“V（ファイブ）”を組み合わせて名づけたものです。ここでは、5つの取り組みについて解説いたします。

## Confidence in Motion

## I 行動改革

新しい行動指針「Confidence in Motion」の下、お客様との信頼関係をこれまで以上に強固にし、チーム全員が丸となって時代の流れを捉え、積極的な行動で本計画の完遂を目指します。

## Ⅱ 新たな スバルらしさの追求

スバルはお客様に「安心と愉しさ」という価値を提供するため、  
「Confidence in Motion」の実践を進めることで、スバルファン層の拡大を目指します。

## 「安心と愉しさ」の価値提案を生み出す技術の追求

安全/走り



## トップレベルの 安全性能

強みであるオールアラウンドセーフティを徹底し、  
安心感とスポーティを両立した走りを追求します。

アクティブセーフティ：走行性能・危険回避能力を追求

パッシブサーフティ：衝突安全性能評価はトップレベルを堅守

プリクラッシュセーフティ：先進安全技術EyeSightを全車種・海外へ展開拡大

環境対応



## トップレベルの 燃費性能

環境エンジンやCVTへの刷新を図り、燃費性能を約30%向上。  
また、次世代環境技術の開発へ注力します。

プラットフォーム：汎用性の高い軽量新プラットフォームの開発

ハイブリッド車：2013年に日本市場から導入

内燃機関：ハイパフォーマンスと環境を両立する水平対向直噴ターボエンジンの投入  
水平対向ディーゼルエンジンの「ユーロ6」への対応

## 今後の商品展開

お客様のライフスタイルや価値観と強い繋がりを持つ商品作りを心がけ、主力車種のフルモデルチェンジに加え、新車種を追加し、商品力強化と商品ラインナップの拡充を行ないます。

|                | 2011                                                                                           | 2012                                                                                            | 2013                                                                                       | 2014                                                                                            | 2015                                                                                         |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 主力車種           | <br>IMPREZA | <br>FMC      | <br>FMC | <br>FMC    | <br>FMC |
| 新車種            | <br>XV      | <br>トヨタ共同開発車 |                                                                                            | <br>新コンセプト |                                                                                              |
| 軽自動車<br>コンパクト  | 自社生産終了<br>OEM                                                                                  | 全量OEM                                                                                           |                                                                                            |                                                                                                 |                                                                                              |
| 環境対応           |                                                                                                | 環境水平対向エンジン+新型CVT全车系へ展開拡大                                                                        |                                                                                            |                                                                                                 |                                                                                              |
|                |                                                                                                | 水平対向直噴ターボエンジン 順次展開拡大                                                                            |                                                                                            |                                                                                                 |                                                                                              |
|                |                                                                                                |                                                                                                 | ハイブリッド車 日本向けから導入                                                                           |                                                                                                 |                                                                                              |
| 先進安全<br>(運転支援) |                                                                                                |                                                                                                 | EyeSight搭載車種拡大、海外展開、機能向上                                                                   |                                                                                                 |                                                                                              |



### Ⅲ 加速する規模の拡大

#### ● グローバル販売戦略

- ・米国と中国を重要市場として拡販を進めます。
- ・その他の先進国市場は、選択と集中によって収益確保をはかるとともに、新興国では需要拡大にアプローチを進めます。

|    |                                                             |           |                                            |
|----|-------------------------------------------------------------|-----------|--------------------------------------------|
| 米国 | 好調な販売を続けている米国を最重要市場と位置づけ、シェア2%とメーカー別販売ランキング10位以内の堅守を目標とします。 | 日本        | 「安心と楽しさ」でNo.1ブランドを目指し、母国市場として存在感を堅持していきます。 |
| 中国 | 世界最大の市場となった中国を新たな重要市場として確立すべく、販売台数18万台・スバルNo.2市場を目標にまい進します。 | 欧州<br>ロシア | 人気の高いAWD・SUVを販売の基軸とした付加価値戦略を行います。          |

#### ● グローバル生産体制の構築

- ・生産能力、為替対応力向上のため、中国現地生産化を実現します。
- ・軽自動車生産工場を乗用車生産工場へ刷新します。(本工場)
- ・環境性能に優れた新型パワーユニットの生産を拡大します。(大泉工場)
- ・マレーシアでのKD生産を実現し、FTAを活用して成長市場へアプローチします。

|      |                                      |
|------|--------------------------------------|
| アセアン | 高関税障壁を乗り越える、自由貿易協定の活用で成長市場へアプローチします。 |
|------|--------------------------------------|

### Ⅳ 事業基盤の強化

|              |                                                        |
|--------------|--------------------------------------------------------|
| 品質の向上        | お客様へ安心していただける品質の商品を提供するとともに、海外市場の広がりに対応しグローバル体制を強化します。 |
| 原価構造改革       | 環境対応などの原価上昇の吸収を目指し、次期モデルで20%レベルの原価低減に取り組みます。           |
| トヨタとの提携効果の追求 | 長期的な相互の競争力強化と発展に向けたWin-Winを追求します。                      |

### Ⅴ 経営の質の向上

- 航空宇宙・産業機器・エコテクノロジー各カンパニー  
収益の確保を前提として、将来の事業の自立、成長を見極めます。
- 人材育成  
高い目標に挑戦しグローバルで活躍する人材の育成と、働き方の多様化を進め従業員満足度の向上を目指します。
- コーポレートガバナンスの強化  
社外取締役を招聘、および独立役員の増強を行います。
- 株主還元  
毎期の業績、投資計画、経営環境を勘案しながら、継続的な配当を基本としつつROEの改善を視野に入れ、業績連動の考え方を取り入れていきます。

2011-2015  
中期経営計画

数値目標

2015年度

販売台数(全世界)

90 万台

連結営業利益

1,200 億円

(営業利益率6%レベル、想定レート ¥90/US\$, ¥120/EURO)

中期経営計画の詳細につきましては、  
当社ホームページ  
「株主・投資家の皆様へ」  
<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>  
に掲載されております。

## 新型インプレッサ 5ドア、4ドアを同時発表

歴代インプレッサに共通する「スタイリッシュ」「スポーティ」「クラスを超えた上級」なスタンダードカーという3つのキーワードのもと、4代目となる新型インプレッサは優れたポテンシャルを継承し、さらに新しい時代の価値として燃費性能を追求しました。

5ドアハッチバックを「IMPENZA SPORT」、4ドアセダンを「IMPENZA G4」というサブネームをつけました。



IMPENZA  
SPORT

スタイリッシュな内外装と、心地いいロングドライブが愉しめる「IMPENZA



### ● クラスNo.1の環境性能

フォレスターで好評の燃費性能に優れ、排ガスのクリーン化を実現する新世代BOXERエンジンを採用。新たに1.6ℓエンジンを開発し、動力性能と燃費性能の双方を向上させました。また、新型インプレッサにあわせて新開発した軽量でコンパクトなリアトロニックを採用しています。さらに、スバルオリジナルの始動性に優れたアイドリングストップを新開発しました。渋滞中や信号待ちなどで一時停止中にエンジンを自動的にストップし燃費消費を抑える機能です。スバルではエンジン停止から再始動までの時間が短く、発進がスムーズなのが特長です。

燃費性能(JC08モード)

|             |             |
|-------------|-------------|
| 新型1.6ℓ      | 新型2.0ℓ      |
| 2WD/リアトロニック | 2WD/リアトロニック |
| 17.6 km/ℓ   | 17.2 km/ℓ   |

アイドリングストップ搭載

### ● 質感あふれる室内空間

素材のクオリティを高めることでこれまでにない上質感を実現しました。シートには、表皮の手触りにこだわり、風合いの良いファブリックやソフトな合成皮革などを採用しました。また、センターパネルには、ヘアライン処理を加え、上質さを感じさせるアクセントとしました。



# インプレッサ誕生



SPORT」



走りの気持ち良さと、燃費性能を追求した次世代スポーティセダン「IMPREZA G4」



## 定評あるスバルの安全性能

### アクティブセーフティ

シャシーの剛性を高めることで、危機回避性能を大幅に向上させました。また、VDC（ビークルダイナミクスコントロール）を全車に標準装備、走行時の安全性を高めました。さらに1.6ℓモデルふくめ全車に4輪ディスクブレーキを採用。ブレーキの応答性が高まり、悪天候時や高速道路走行時の安心感がいっそう高まりました。

### パッシブセーフティ

世界で高評価を受けるスバルならではの衝突安全性能。ボディには新素材を採用し、軽量でありながら強度を高めた安全ボディを実現しています。また、ペダルを踏み込む力が弱い方でも安定してブレーキの効果が得られる新システムを採用。アクセルとブレーキの両方を踏み込んでしまった時は、ブレーキを優先させる制御を行いません。



全方位の衝撃に備える新環状力骨構造ボディ



先進の運転支援システム「EyeSight(ver.2)」

### EyeSight(ver.2)

人気の運転支援システム「EyeSight(ver.2)」をインプレッサシリーズに初採用しました。なかでもAT誤発進抑制制御は、世界で唯一※「EyeSight(ver.2)」独自の機能です。ステレオカメラが壁などを認識し、誤ってアクセルペダルを踏みこんだ時でも誤発進しないよう抑制します。

※2011年11月現在。(自社調べ)

### タンチョングループとマレーシアでの委託生産に向け合意

— アセアン地域での成長に向け2012年10月の生産開始を目指す —

当社は7月6日、タンチョングループとマレーシアにある同グループの工場でのスバル車KD(ノックダウン)生産(現地組立生産)の委託契約に向けた覚書を締結しました。

委託契約はタンチョングループのマレーシアでのスバル販売特約店であるTC Subaru Sdn.Bhdと締結し、KD生産は同グループ会社のTan Chong Motor Assemblies Sdn.Bhd(以下TCMAと略)の既存工場を使用します。同工場において小型SUVを年間5,000台程度の規模で、2012年10月の生産開始をめざします。また、KD生産車は同グループのスバル販売網を通じてマレーシア国内、

タイ、インドネシアでの販売を予定しています。

タンチョングループは、1987年にシンガポールでのスバル販売特約店となって以来、永年にわたりアジア地域でのスバル車の販売を行っている信頼あるパートナーです。またTCMAは設立当初の1974年から日本車および欧州車のKD生産を行い、1986年にはスバル車のKD生産を手がけるなど、すでに自動車の生産、品質管理の高いノウハウを有していることから、初期投資を抑制できると共に委託契約成立から早期の生産開始が可能となります。

### 株主様工場見学会を実施

当社では9月25日(当初4月15日に実施予定でしたが震災の影響により延期)に株主様工場見学会を実施いたしました。第8回目となった今回は、44組75名の方にご参加いただき、群馬製作所矢島工場と同工場内にあるスバルビジターセンターに加え、本工場に隣接する群馬テストコースも見学していただきました。

当日はテストコース内をバスで周回したあと、テストドライバーによるデモ走行をご覧いただいたほか、アイサイトの体験試乗(当日参加者からの抽選による)の模様をご覧いただきました。また、スバルビジターセンターでスバルの歴代の展示車をご覧いただくとともに、工場内ではレガシィ、フォレスターなどが生産されている様子をご覧いただき、日頃の生産活動に対するご理解を深めていただきました。工



場見学後には質疑応答により貴重なご意見やご感想をいただきました。

次回は平成24年3月20日に実施する予定です。詳しくは右ページをご覧ください。



## 》株主様工場ご視察会のご案内

今年も株主様向けの  
工場ご視察会をご案内いたします。  
今回は矢島工場とスバルビジターセンターに加え、  
本工場に併設されておりますテストコースの  
ご視察をしていただく予定です。



PHOTO: スバルビジターセンターの展示コーナー

### ● ご視察日時

平成24年3月20日(火・祝) 11:00～16:00予定

### ● ご視察場所

群馬製作所内矢島工場およびビジターセンター

所在地: 群馬県太田市庄屋町1-1

同本工場併設テストコース

所在地: 群馬県太田市スバル町1



PHOTO: 矢島工場内の製造ライン



PHOTO: 群馬製作所 矢島工場

### ● ご集合場所

東武伊勢崎線太田駅(浅草から特急りょうもう号で約1時間20分)

①当日は、東武伊勢崎線太田駅より送迎バスをご用意いたします。

②お車で越しの株主様は矢島工場に直接おいでください。

③当日のご集合場所までの交通費は、株主様のご負担とさせていただきますのでご了承ください。

### ● ご視察人数

50組100名様程度とさせていただきます。

(株主ご本人様とご同伴者様1名様)

①ご希望者多数の場合は抽選とさせていただきますのでご了承ください。

②当選落選に関しましては株主様ご本人に直接ご連絡し、当選の株主様には当日の詳細をご案内いたします。

### ● ご注意

ご視察コースは階段等を含め、約1時間の歩行となります。

ハガキでご応募ください!

締め切り

平成24年1月6日  
当日消印有効

### 株主様

- ① 郵便番号
- ② ご住所
- ③ お名前
- ④ 年齢
- ⑤ 交通手段(電車・車・その他)
- ⑥ 電話番号
- ⑦ 携帯番号
- ⑧ ご同伴者とのご関係

### ご同伴者様

- ① ご住所
- ② お名前
- ③ 年齢

郵便はがき

160-8316

東京都新宿区西新宿1-7-2  
富士重工業株式会社 総務部  
「株主様工場ご視察会」係

### ● 個人情報の取扱いについて

今回ご応募いただきました株主様およびご同伴者様の個人情報は本ご視察会の実施以外の目的では一切使用いたしません。

## 配当に関する事項

平成23年11月1日開催の取締役会において、当社定款第47条に基づき、平成23年9月30日の最終の株主名簿に記載された株主または登録株式質権者に対し、以下のとおり中間配当の実施を決定しました。

1. 中間配当金1株につき 4円50銭
2. 支払請求権の効力発生日および支払開始日 平成23年12月5日

## 株式事項 (平成23年9月30日現在)

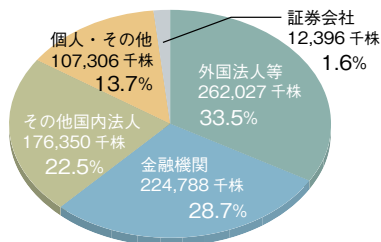
### 株式の総数

発行可能株式総数 1,500,000,000株  
発行済株式の総数 782,865,873株  
[注] 当中期の増加 0株

### 株主数

44,154名

### 株主の分布状況



[注1]「個人・その他」には、当社所有の自己株式2,004千株が含まれております。

[注2]「その他国内法人」には、株式会社証券保管振替機構名義の株式11千株が含まれております。

### 大株主

| 株主名                                        | 株式数(千株) | 比率(%) |
|--------------------------------------------|---------|-------|
| トヨタ自動車株式会社                                 | 129,000 | 16.48 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)                    | 34,451  | 4.40  |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)                  | 28,188  | 3.60  |
| チェース マンハッタン バンク ジーティーエスクライアント アカウント エクスクロウ | 13,853  | 1.77  |
| ビービーエイチ493025ブラックロックグローバルアロケーションファンドリンク    | 13,763  | 1.76  |
| スズキ株式会社                                    | 13,690  | 1.75  |
| 富士重工業取引先持株会                                | 12,491  | 1.60  |
| 株式会社みずほコーポレート銀行                            | 12,361  | 1.58  |
| 株式会社みずほ銀行                                  | 12,017  | 1.54  |
| 株式会社損害保険ジャパン                               | 11,716  | 1.50  |

### 株価の推移



社 名 富士重工業株式会社  
 英 文 社 名 Fuji Heavy Industries Ltd.  
 創 立 1953年(昭和28年)7月15日  
 資 本 金 153,795百万円  
 従 業 員 数 12,505名(連結会社合計27,405名)  
 主 要 製 品 普通・小型自動車、軽自動車、航空機、汎用エンジン、環境車両、風力発電  
 本 社 〒160-8316 東京都新宿区西新宿一丁目7番2号  
 代 表 電 話 03-3347-2111

## 役員 (平成23年9月30日現在)

|           |         |        |         |
|-----------|---------|--------|---------|
| 代表取締役会長   | 森 郁 夫   | 執行役員   | 野 村 元 清 |
| 代表取締役社長   | 吉 永 泰 之 | 執行役員   | 上 野 康 男 |
| 代表取締役副社長  | 近 藤 潤   | 執行役員   | 小 林 英 俊 |
| 取締役専務執行役員 | 馬 淵 晃   | 執行役員   | 平 川 良 夫 |
| 取締役専務執行役員 | 武 藤 直 人 | 執行役員   | 下 川 良 一 |
| 取締役専務執行役員 | 池 田 智 彦 | 執行役員   | 務 川 達 彦 |
| ☆取 締 役    | 有 馬 利 男 | 執行役員   | 小坂井 康 雄 |
|           |         | 執行役員   | 中 井 毅   |
| 専務執行役員    | 高 橋 充   | 執行役員   | 野 飼 康 伸 |
| 専務執行役員    | 灰 本 周 三 | 執行役員   | 高 橋 正 士 |
| 専務執行役員    | 高 田 充   | 執行役員   | 飯 田 政 巳 |
| 常務執行役員    | 鴨 川 珠 樹 | 執行役員   | 中 村 知 美 |
| 常務執行役員    | 永 野 尚   |        |         |
| 常務執行役員    | 宮 脇 基 寿 | 常勤監査役  | 高 木 俊 輔 |
| 常務執行役員    | 日 月 丈 志 | 常勤監査役  | 及 川 博 之 |
| 常務執行役員    | 笠 井 雅 博 | ☆常勤監査役 | 今 井 伸 茂 |
|           |         | ☆監 査 役 | 宮 川 義 一 |

[注] ☆印は会社法に定める社外取締役および社外監査役であります。



## 株式手続きのご案内

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日  
配当基準日 期末配当:3月31日、中間配当:9月30日  
定時株主総会 6月中  
単元株式数 1,000株  
株主名簿管理人及び  
特別口座管理機関 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社  
同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部  
公告方法 日本経済新聞に掲載して行います。

株式に関する各種お手続き(届出住所等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式に関する買取請求書及び買増請求書等)に関するお問い合わせ、書類のご請求の窓口につきましては、以下のとおりです。

### 証券会社に口座をお持ちの場合

お取引の証券会社になります。

なお、未払配当金の支払、支払明細発行については、下記のお取扱店・電話お問い合わせ先・郵送物送付先をご利用ください。

### 証券会社に口座をお持ちでない場合(特別口座)

お取扱店 みずほ信託銀行株式会社 全国各支店  
みずほインベスターズ証券株式会社本店および全国各支店

電話お問い合わせ先 0120-288-324(フリーダイヤル)

郵便物送付先 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4

なお、未払い配当金のお支払につきましては、みずほ銀行本店および全国各支店でもお取り扱いできるようになりました。

表紙PHOTO:インプレス SPORT 2.0i オプション装着車

# SUBARU BRZ

当社は、トヨタ自動車と共同開発を進めているFRスポーツ車の名称を「SUBARU BRZ(スバル ビーアールゼット)」といたしました。「BOXERエンジン」のB、「Rear Wheel Drive」のR、「究極」のZの3文字を組み合わせ、スバル車の特長である水平対向エンジンを搭載したスポーツ車への想いを込めました。「SUBARU BRZ」は2012年春より生産を開始する予定です。



## 富士重工業株式会社

〒160-8316 東京都新宿区西新宿一丁目7番2号

電話 03-3347-2111

[ホームページ:株主・投資家の皆様へ] <http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

